

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

(別添様式2)

公表日:令和4年 12月 28日

事業所名:児童発達支援・放課後等デイサービスUMIE第二教室

サービス種類:児童発達支援・放課後等デイサービス

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
環境・体制整備	1	利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	基準以上のスペースを確保しています。	はい: 21 (100%) 集中して宿題等が出来るスペースで、集団活動出来るスペースも確保されている。	改善点、改修が必要な箇所はありません。
	2	職員の適切な配置	基準の職員に加え、加配の職員も配置しています。職員は全員、有資格者を配置しています。	はい: 17 (80.9%) どちらともいえない: 1 (4.8%) わからない: 3 (14.3%) 職員の方が研修等で様々な勉強をされている。	現状では、職員の増員は計画しておりません。
	3	本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	施設内は全面バリアフリーとしています。お子様の特性に合わせて、個別訓練室も使用しています。	はい: 18 (85.7%) どちらともいえない: 1 (4.8%) わからない: 2 (9.5%) 本人が分かりやすく使いやすい配置になるよう考えられている。	現状で対応できていると考えており、改修などの予定はありません。
	4	清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	日々、清掃や消毒、換気、加湿を適宜行い、清潔な空間の確保に努めています。	はい: 20 (95.2%) わからない: 1 (4.8%) 清潔で整った環境で、安心して過ごせる空間になっている。	今後も安心して通所頂けるよう、現状維持に努めます。
業務改善	1	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	障害児通所施設支援システム「メイプル日誌Ⅲ」を導入し、業務改善、業務の効率化に努めています。		引き続き、業務の効率化に努めたいと思います
	2	第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	開所して1年未満の為、実施は出来ていません。		現時点では、第三者評価制度の活用は考えておりません。
	3	職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	研修は各自メールやFAXでの案内で確認しています。また、月に1回法人が定めた事業所内研修を実施し、資質の向上に努めています。		引き続き、オンライン研修の活用に努めたいと考えております。
適切な支援の提供	1	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	保護者が記載した相談受付票や、送迎時や面談、電話等で得た直近の状況に加えて、相談員からの計画書等から課題を整理し、事業所のコンセプトに沿った計画を作成しています。	はい: 21 (100%)	より効果的な学習支援に取り組めるように、K-ABC IIを導入する予定があります。
	2	子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	事業所のコンセプトに沿った内容と、お子様の強みを関連付けながら計画を作成しています。	本人や保護者の困り事や、これから伸ばしていきたい事等に基づいて作成されている。具体的な支援方法を考え、提案してもらっている。	集団療育の内容に工夫を凝らして、お子様が楽しめるように職員間でアイデアを出し合っています。
	3	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	学習支援に結びつくよう、事業所内にある機材や教材の活用方法を記載しています。		文字と音のリンク、数概念の育み、ワーキングメモリー、ビジョントレーニングといった観点からも、お子様それぞれの必要項目を設定できるようにしていきたいと思っております。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
適切な支援の提供(続き)	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	職員間で日々、意識しながら課題や活動を設定しています。	はい: 20 (95.2%) わからない: 1 (4.8%) 本人の気持ちに寄り添って無理なく支援頂いている。	現状を継続できるように努めたいと思います。
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	基本となる学習支援プログラム以外の集団療育については、国語の要素と算数の要素を週替わりで、且つ担当職員も変えながら、チーム全体でシミュレーションをしてアイデアを出し合い、趣向を凝らした活動に取り組んでいます。		現状を継続できるように努めたいと思います。
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	休日や長期休暇中には、ボードゲームやカードゲーム等を使って、児童同士の交流を促進しつつ、学びの要素が入っているものを提供しています。平日には時間的制約から実施できない活動で、社会性の向上を目指しています。	はい: 19 (90.5%) わからない: 2 (9.5%) 様々なプログラムで、子ども達が飽きることなく、楽しめるようになっている。	コミュニケーション能力の向上や、社会性、相手の気持ちの育みが期待できる協力ゲームの拡充などを図っていきたい。休日や長期休暇時は、外出支援も検討していきたいと思います。
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	メインとなる支援は、オンライン教材の「すらら」と、認知機能の発達を促す3種類のソフトを使ったトレーニングですが、集団療育については週替わりで内容を変え、活動内容に工夫を凝らしています。		お子様の興味の幅を広げられる、或いは強みの発見につながるような工夫を凝らしていきたいと思います。
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	朝礼後のミーティングで実施しています。		現状を継続できるように努めたいと思います。
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	支援終了後は、職員間で気付いた事を中心に振り返りを行い、情報の共有を図っています。非常勤職員に関しては、翌日の出勤時に情報共有しています。		現状を継続できるように努めたいと思います。
	10	日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	障害児通所施設支援システム「メイプル日誌Ⅲ」を使い、毎日、必要な入力項目への記録に努めています。		現状を継続できるように努めたいと思います。
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	目安としては半年毎に、お子様の状況に変化があれば半年を待たずに、その都度行っています。		現状を継続できるように努めたいと思います。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	開催時間等、状況によっては児発管に加えて直接支援している職員も参加できるよう、調整しています。		コロナ禍の状況ではあるが、可能な限り参加できるよう、今後も調整していきたいと思います。
	2	<b>(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)</b> 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施			
	3	<b>(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)</b> 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備			
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有			
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供	該当するケースがありませんでした。		該当者がいれば、対応できるようにしていきたいと思います。
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	特に連携を必要とする事例はありませんでした。 専門機関による研修への参加は、送迎職員確保上の理由で実施できていません。		送迎職員の確保が最優先され、対面での受講は困難な為、オンラインでの受講の機会を活かしたいと思います。
	7	児童等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	現時点では、事業所外での対外的な交流はございません。	はい: 5 (23.8%) いいえ: 6 (28.6%) わからない: 10 (47.6%) 現在のコロナ禍では難しい。	保護者の意見も要、不要が別れているのが現状ではあるが、実施に向けて今後の課題としたいと思います。
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	周囲を工場や店舗に囲まれ、近隣には一般家庭が無い為、地域住民の招待を想定した企画を実施していません。		現状を考えると、地域住民の招待を想定した企画の実現は難しいと思われるので、現状通りとします。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
保護者への説明責任・連携支援	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	支援の内容については見学時に、利用者負担等については契約時に具体的な計算例を用いて説明しています。	はい: 20 (95.2%) どちらともいえない: (4.8%) 契約時に丁寧に説明頂いた。	現状を継続できるように努めたいと思います。
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	実施しています。	はい: 21 (100%) 計画書を見ながら説明頂いた。	現状を継続できるように努めたいと思います。
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	希望のあるご家庭に関しては、家庭訪問を実施し、相談援助を実施しています。また、送迎時に日々のお悩み事をお聞きする機会を設けています。	はい: 13 (61.9%) どちらともいえない: 1 (4.8%) いいえ: 2 (9.5%) わからない: 5 (23.8%) コロナ禍では難しい状況だが、保護者会や個別の相談等、可能な範囲で対応して頂いている。	現状を継続できるように努めたいと思います。
	4 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	障害児通所施設支援システム「メイプル日誌」の連絡ノート機能を用いた情報交換と、送迎時には対面でのご説明を行っています。	はい: 21 (100%) 連絡帳や送迎時等で成長している点や困り事、色々な事を共有出来る様にして頂いている。	現状を継続できるように努めたいと思います。
	5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	送迎時における対面時など、保護者からの要望に対応できるようにしています。	はい: 18 (85.6%) どちらともいえない: 1 (4.8%) いいえ: 1 (4.8%) わからない: 1 (4.8%) 困り事等は、いつでも相談出来る対応して頂いている。	現状を継続できるように努めたいと思います。
	6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	「意見交換会」として、保護者同士がお子様の特性や悩み事などを共通理解できるような機会を不定期ではありますが、設定しています。	はい: 10 (47.7%) どちらともいえない: 2 (9.5%) いいえ: 3 (14.3%) わからない: 6 (28.5%) 現在まではコロナ禍で難しい状況でしたが今後意見交換会が予定されています。	保護者のニーズが多い様であれば、開催を検討したいと思います。
	7 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	苦情受付体制が整備されており、管理者がその窓口となっております。 ご要望については、対応者からの伝達により、速やかに応える様に努めております。	はい: 16 (76.1%) わからない: 5 (23.9%) 保護者からの意見に対して迅速に対応して頂いている。	現状を継続できるように努めたいと思います。
	8 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	スマホを用いた連絡ノートでのやり取りを始め、メール、電話など、保護者にとって利便性の高い方法で情報共有できるようにしております。	はい: 20 (95.2%) わからない: 1 (4.8%) 連絡帳や送迎時、電話等で保護者とも情報共有できる状況である。	自閉的傾向を有する児童に対するPECS(絵カード交換式コミュニケーション・システム)等の導入可能性は検討したいと思います。
	9 定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	現時点では、会報等の発行は行っておりませんが、Instagramで週3回程度の情報発信を実施しています。	はい: 18 (85.7%) どちらともいえない: 2 (9.5%) わからない: 1 (4.8%) 新しい活動や子ども達の様子についてお知らせ頂いている。	Instagramを中心に、情報発信を継続できるようにしていきたいと思います。
	10 個人情報の取扱いに対する十分な対応	施設や書庫の施錠は日々実施して取扱いに留意しています。	はい: 20 (95.2%) わからない: 1 (4.8%)	現状を継続できるように努めたいと思います。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	各種マニュアルは作成し、事務所内にて掲示しています。	はい: 19 (90.5%) わからない: 2 (9.5%) 重要事項説明書に記載があります。	現状を継続できるように努めたいと思います。
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	年に2回以上実施できるよう、職員間で計画を立てて訓練を実施しています。	はい: 17 (80.9%) わからない: 4 (19.1%) 重要事項説明書に記載があります。	令和4年度は9月に実施済みです。 次回は3月頃に予定しています。 また、お子様が利用されている時間帯での定期的な訓練の実施も計画しています。
	3	虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	外部での研修や法人内での研修に適宜参加し、適切な対応を深めています。		現状を継続できるように努めたいと思います。
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明し、了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	現在、身体拘束が必要なケースが無いが、必要な場合は職員間で検討後、保護者への説明をし、個別支援計画に記載する手順は整えています。		現状を継続できるように努めたいと思います。
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	見学時の相談受付時に、アレルギーに関する項目を記載してもらい、把握しています。当事業所が提供しているおやつに関しては、アレルギーの無いもので工夫しています。		現状を継続できるように努めたいと思います。
	6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	ヒヤリハットが発生した場合は、その日のうちに作成し、今後の対策も含めて職員間で情報共有をしています。		現状を継続できるように努めたいと思います。